

令和7年度 山口県中学校新人体育大会ソフトテニス 競技上・会場使用上の注意

令和7年10月11日（土）・10月12日（日）予備日：10月14日（火）

会場：維新百年記念公園テニス場

1. 競技の進行について

(1)現行の（公財）日本ソフトテニス連盟のハンドブックに則って行う。

(2)ゲームは、団体戦についてはすべて7ゲームマッチを原則とする。悪天候による競技の中止や延期によっては、5ゲームマッチに変更することもあり得る。なお、今大会は12月27日（土）に鳥取県で開催予定の「中国地区中学生ソフトテニスインドア大会」の予選会を兼ねるため、男女とも団体戦上位2チームについては、その出場権を得るものとする。出場権を得たチームが出場を辞退した場合には、準決勝で敗退したチームから順位を繰り上げて、出場権を渡すこととする。辞退したチームに敗退したチームを最優先とする。

個人戦については、すべて5ゲームマッチを原則とする。個人戦については、「中国地区中学生ソフトテニスインドア大会」の予選会を兼ねない。

(3)団体戦については、1チーム3ペア編成の点取り対抗トーナメント戦とする。

①オーダーはその都度変えても良い。登録選手の変更は、変更届けを必ず提出する。（提出は、大会当日受付時に提出すること。）

第一試合のオーダーは、監督会議終了後すぐに提出すること。

②3ペアの中で、半数以上（2ペア）欠けた場合は以後競技を続けることができない。

③1ペア欠けた場合のオーダーの欠番は、3番目とする。

④1チーム2ペアのチームは3対戦目をOPENとすること。相手の3対戦目のペアを不戦勝とする。
2ペアのチーム同士の対戦で1勝1敗となった場合は、得失ゲーム数や得失点で勝敗を決める。

(4)団体戦はどちらかが初戦のときは3ペア全部が行い、以後は2点先取した方を勝者とし、試合を打ち切る。
対戦相手が2ペアしかいない場合、3番手の試合は行わない。

(5)団体戦・個人戦ともに、順位決定戦は実施しない。順位決定の仕方は、県選手権大会と同様とする。

(6)使用球 男女団体戦：ケンコー 個人戦：男子 ケンコー 女子 アカエム

(7)試合前の乱打は1分以内とするが、乱打をしないときもある。

(8)チェンジサイズの際とファイナルゲームに入る前のコーチについては45秒で、ヒートルールを適用した場合には、2分45秒で「レッツ、プレイ」をかける。

(9)中学校で中体連に登録してある外部コーチのベンチ入りを認める。1人のコーチが複数のチームのベンチに入ることはできない。クラブチームは、コーチ1以上の資格をもっている指導者のベンチ入りを認める。今年度より発足したチームの場合、年度内に講座を受講し、コーチ1以上の資格を取得する予定である場合に限り、取得中としてベンチ入りを認める。

2. 雨天の場合について

雨天の場合は監督者会議を開き、実施を検討する。中止・延期の決定は県中体連役員・専門部長・専門委員長・副専門委員長で行う。※中止の場合は、順次日程を予備日に繰り越すこととする。雨の状況によっては、2日目、または予備日に団体戦一部と個人戦の一部を実施することがある。

3. コート割について（組み合わせに記載）

進行によりコート変更をすることがある。

4. コートマナーについて

(1)コートには、試合中の選手（団体戦は登録選手のみ）・監督又は外部コーチのいずれか1名しか入ることができない。

(2)ベンチは小さい番号が、審判台から見て左側とする。

(3)次の試合のチーム、ペアは、今行われている試合や放送に気をつけて待機し、終われば速やかにコートに整列すること。

(4)ラリーが続いているとき、及びサービスモーションを起こした時点からの応援の発声は禁止する。

(5)過度のかけ声または相手を不愉快にする発声をしてはならない。

(6)チェンジサイズ時のベンチ監督からのアドバイスを除き、インプレイ中における監督、選手、外部コーチ、その他観客からのアドバイスを禁止する。過度の声かけが認められる場合、イエローカードの対象とする。

(7)審判に対して質問できるのは、団体戦ではベンチ入りしている監督（コーチ）またはプレイヤー、個人戦ではプレイヤーのみとする。なお、異議・申立はできない。

5. 審判について

(1)団体戦・個人戦ともは、第1試合は本部より指定（組み合わせ表に記載）、第2試合以降は敗者審判とする。

(2)正審と副審の2人で行い、その判定区分を明確にすること。

(3)正審は副審のサインを確認した後に、大きくはっきりコールすること。

(4)イエローカードを発する場合、口頭にて行い、採点票に記録をとる。

(5)試合終了後、勝者は直ちに採点表を本部に届け、次の試合の採点表をコートに持っていくこと。敗者はボールとボードの保管をし、次の試合の審判をすること。

6. 服装、用具について

(1)服装・用具は公認メーカーのものとし、シャツは襟なしも可とする。服装は華美なものの使用は避けること。シューズはテニスシューズを使用する。ソックスの長さについての規定はなし。

(2)背中ゼッケンをつけること。大会要項に記載している3段ゼッケンを使用すること。監督も胸ゼッケン、または、ネームフォルダをつけ、スポーツシャツを着用すること。

(3)コート内では、選手はもちろん監督も必ずテニスシューズを着用すること。

(4)服装（用具を含めて）の色の規定に準じて、医療用具（サポーター・テーピング等）の使用を認める。アンダーウェア（シャツ・パンツ）の使用を許可する。色は単色とする。色の指定はなくなったが、別色ラインなどはNG。 ※県大会では使用届を提出する必要はない。

(5) ベンチでの日傘の使用を許可するが、色は黒色、紺色、青色等の濃い色のものとし、白色や銀色等のボールと同色となるものや反射するものは使用しないこと。（観客等も同様とする。）

(6) 選手の着用している衣服、腕等へのペイント・文字の書き込み、装飾品（ミサガ等）は禁止する。ボールフォルダにも何もつけないこと。

7. 会場使用上について

(1) 弁当がらなど、ごみはすべて持ち帰ること。

(2) 病人や負傷者が出た場合、本部の救護係で簡単な対応はできるが、病院等への搬送は各チームで責任をもってすること。

(3) 喫煙は、喫煙場所ですること。

(4) 待機場所でのテントの使用は認めるが、通路にあたる部分にはテントを張らないこと。

(5) 駐車場については、所定の場所を利用すること。

8. その他

昨年度の団体戦優勝チームは優勝旗、準優勝のチームは盾を返還してください。該当するチームが不参加の場合は、各支部専門委員長が支部内の団体戦に出場するチームにあずけるなどして、確実に返還をお願いします。（個人戦は、優勝旗等はありません。）

昨年度：男子団体戦 優勝：周南クラブ

準優勝：日の山クラブ

女子団体戦 優勝：M's

準優勝：周南クラブ

貴重品の管理については、各チームで十分に注意してください。高額なラケット、貴重品については選手自らが身につけて移動するか、貴重品を監督が預かり、持ち歩くようお願いします。監督自身の貴重品につきましても、「置きっ放し」にならないようご注意ください。